

会 議 録

1 会議の名称	令和4年度 第2回 石岡市空家等対策協議会
2 開催日時	令和5年1月13日(金) 午前10時30分から 午前11時30分まで
3 開催場所	石岡市役所 本庁舎2階 202会議室
4 出席した者の氏名	(委員) 谷島会長、三輪副会長、石井委員、山田委員 菱沼委員、松本委員、鈴木委員 (事務局) 生活環境部：鶴井部長、萩原次長 生活環境課：惣野代課長、鈴木課長補佐、稲田係長 槍崎主幹 (オブザーバー) 国際航業株 ；宮野氏
5 議題	1 石岡市空家等対策計画について 1) 第2次石岡市空家等対策計画(素案)について
6 協議の内容	議事録のとおり
7 担当課の名称	生活環境部 生活環境課

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

1) 第2次石岡市空家等対策計画（素案）について

事務局：

第2次石岡市空家等対策計画（素案）を説明

会長：

ただいま事務局より、第2次石岡市空家等対策計画（素案）について説明があったが、質問・意見等はあるか。

会長：

私から一点お聞きしたい。41ページに目標値を示しているが、その根拠を伺いたい。

事務局：

- ・情報発信回数については、現況値は市の広報紙にて空家管理の適正化のお願いを年1回実施しているが、その頻度を多くしたり、他の情報手段にも広げることを想定している。
- ・市内の空家が解消された件数については、現状の傾向を踏まえ、年7件程度の解消をねらっており、市の総合計画上での目標とも整合を持たせている。
- ・合同相談会実施回数については、これまでは県との合同開催を考慮していたが、市独自で取り組むなど、年2回の開催を目指したい。

委員：

広報紙での呼びかけの内容は、どういったものか。

事務局：

16ページに掲載しているものが事例であるが、空家の適正管理を呼びかける一般的な内容で、紙面も小さかったことから、今後は回数を増やすこと、特集を組むことなどに組みみたい。

委員：

相談会の開催を案内することも良いし、また、人が集まる施設に空家対策のことを掲示することも有効だと考える。

事務局：

今後、空家対策として参考にしたい。

委員：

13ページの積極的な空家化防止活動は重要なことだと思われるが、具体的な体制は考えているのか。

事務局：

具体的にはこれからですが、地域ケア会議との連携やエンディングノートを活用して、本人や家族に空家化の問題を真剣に考えるようにしたい。

委員：

ケアマネージャー等に空家問題を理解して頂くための資料作成や小学生からおじいちゃん、

おばあちゃんに話してもらうような工夫を図ることが良いと考える。

会長：

他に意見・質問等あるか。無いようですので、本日の委員のご意見等を参考にして事務局で作業を進めていただきたい。

以上で議題1については終了いたします。

2) その他

会長：

その他ですが事務局でも無いということなので、委員の皆様にお集まりいただいたので、空家に関する意見等をお願いする。

委員：

国で空家法の改正についての議論が進行中であるが、まちづくりと一体となった対策が必要になっている。庁内連携を十分行いながら取り組む必要がある。

委員：

他の委員も兼ねており月に何回か安否確認のため、地域を回ると通学路等に、危険な状態の空家がある。

委員：

空家の問題は単に除去すれば良いというものではなく、受け身から積極的に解決する姿勢が重要である。

委員：

防火という観点から調査を実施している。今後は市とも情報を共有して参りたい。

委員：

防犯、安全という観点から調査を実施している。今後は市とも情報を共有したい。

委員：

相続登記が義務化になったことを受け、それを推進することで空家が少なくなればと考えている。

委員：

現地調査を行っているが、電気の引き込みが空家でも生きていることがあり注意を要すると考えており、建物内に簡単に侵入できる家屋等もあり、関係する機関や部署間での連携がますます重要だと考えている。

会長：

貴重なご意見とありがとうございました。

5 閉会